

第3回

旭区大宮・古市地域史づくり

ワークショップ・ニュース

平成18年11月20日(月)、旭区役所において大宮・古市の歴史を発掘する地域史の作成を目的としたワークショップの第3回を開催しました。

このワークショップは、地域史の作成を通じて、これまで積み重ねてきた経験等を活かした人材の育成、コミュニティのさらなる向上を目指すものと考えています。

3回目となる本ワークショップは全工程の中盤となるもので、議論で導き出されたキーワードをどのように地域史に掲載していくか、また最終的な地域史のイメージがどのようなものかなどを視点を議論を行いました。



古市班での議論の様子

大宮班

<地域史作成のキーワード>

ミナミジマ、水路、三枚板(舟)、
古民家、特産物など

<議論のポイント>

地形の移り変わり

大宮の昔の地名である「南島」というキーワードに対して、参加者が収集した資料、現在と明治期を照らし合わせた地図などをもとに議論を行いました。次回までに、地形の移り変わりを区画整理事業による変遷や昔の地形の名残などを個々に調べることになりました。

古市班

<地域史作成のキーワード>

古市(地名)、京阪電車、街並み、
千林商店街、井路川、古い長屋など

<議論のポイント>

年代毎のまちの様子

参加者がそれぞれ調べてきたことを発表しあい、地域史の編集に向けて議論を交わしました。京阪電車については開業のいきさつや千林駅の名前の変遷、一時的に「大宮臨時仮駅」があったこと、千林商店街については年代毎の特徴と出来事などが報告されました。

次回、第4回ワークショップは、平成19年1月15日(月)に開催します。

本内容に関するお問い合わせは
大阪市旭区役所区民企画室まで tel06 (6957) 9734